



ポイント

県全体のサテライトオフィス数に占める伊豆半島の割合は、市町設置で5割、民間設置で3割となっている。

地域	伊豆半島	東部	中部	西部	県計
公共設置	8	0	4	4	16
民間設置	19	13	21	13	66

※沼津市・三島市は伊豆半島に含む

伊豆半島の内訳

市町名	沼津市	熱海市	三島市	伊東市	下田市	伊豆市	伊豆の国市
公共設置	0	0	0	0	3	1	0
民間設置	8	3	4	1	1	1	0

市町名	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町	函南町
公共設置	0	1	1	1	1	0
民間設置	1	0	0	0	0	0



ポイント

伊豆半島地域の公設ワーケーション施設は多いが、利用人数は低調である。

市町名	施設名	利用料金	部屋数	定員	利用者(注)
伊豆市	狩野ベース	51,000円/月	4	40	3室入居
下田市	まちなかワークスポット (道の駅 開国下田みなと)	無料	1	6	11
下田市	まちなかワークスポット (下田市民文化会館)	無料	1	6	8
下田市	WORK×ation Site 伊豆下田	10万円/1日	2	50	集計中
河津町	ワーキングスペース バガテル	500円/時間	3	4~20	20
南伊豆町	上賀茂・田舎暮らし体験住宅	5,000円/泊	4	8	0
松崎町	松崎町交流拠点施設 「ふれあいと一ふや。」	100円/時間	4	なし	2
西伊豆町	KAMO' n house	100円/日	5	5~8	20

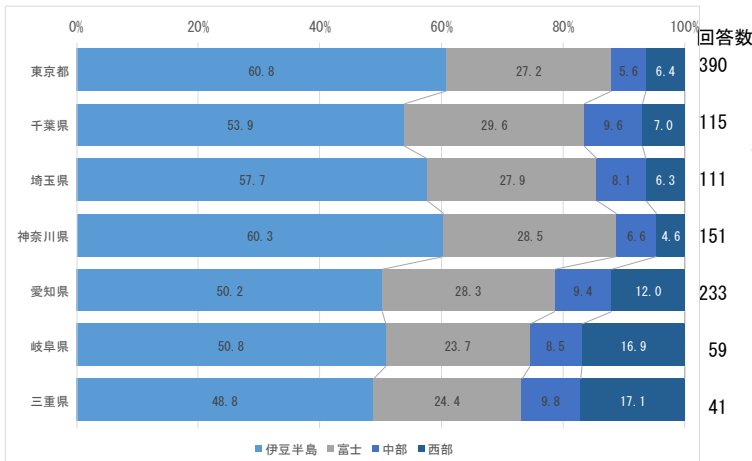
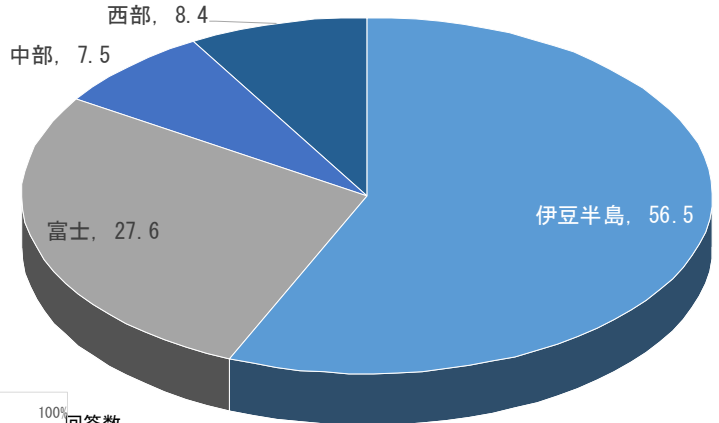
注) 利用者：令和3年度にサテライトオフィスを利用した人数(R3.4~12月の月平均)。
下田市以外は有料利用者のみ。

伊豆半島の優位性

～企業等へのアンケート調査結果～

ポイント

ワーケーションの希望エリアは伊豆半島が最も多く、富士(御殿場等を含む)を加えると8割以上となる。首都圏だけでなく、中京圏からの希望も高い。



地域別内訳

調査概要
首都圏及び中京圏の企業・個人1,100者を対象にオンラインにより調査
実施主体：県観光政策課

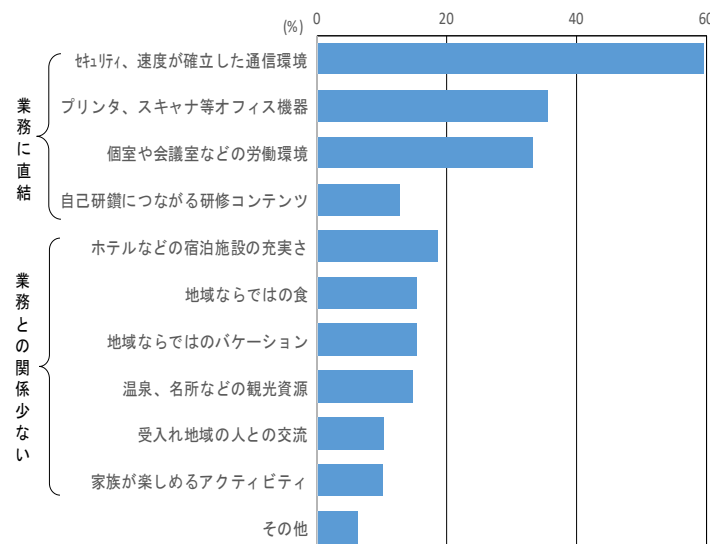
企業等が地域に求めるもの

～企業等へのアンケート・モニター調査結果～

ポイント

企業等が地域に求めるものは、「通信環境」「オフィス機器」など業務に直結する項目が多い
モニターからも、ハード整備に関する要望が寄せられている

ワーケーションを受け入れる地域に求めるもの(複数回答)
○業務に直結する項目が多く、「アクティビティ」「地域との交流」など業務とあまり関係ない項目への要望は少ない。



【モニター意見】

<伊豆半島>
○市の整備したサテライトオフィスは公共施設の一部活用にとどまり、遠隔会議等には不向き。
○地元民間企業がサテライトオフィス整備に乗り出すことで、質・量ともに向上する。
○観光地なので、宿泊施設、飲食店は豊富。市街地がコンパクトで不便はない。

<東部>
○市内に独立したコワーキング施設がないため宿泊施設内での対応となるが、セキュリティ・プライバシー面から、大手企業では、社内ルールに抵触し、利用できない可能性がある。

モニターツアー概要(参加者数：42名 137人泊)
※県内4地域11市町をモデル地区とし実施。